

—錦織佳代子—

風の博物館、歌麿館

大洲市 大洲川町

「心に風を〜町おこしは私たち
一人ひとりの 心の中の風おこしから〜」
これをテーマに風の博物館では、
いろいろな「風」を追い求めています。
風の姿は、人それぞれの感覚によって異なり
ます。
今あなたの心には、どのような
風が吹いていますか？

よい天気、GORIさんの運転で月形川町へ。
昭和51年、一枚の版木が町に発見された。
さらにもう1枚、世界に4枚しか確認されて
ない歌麿の版木の2枚を所蔵。そこから
この町と歌麿、浮世絵との物語が始ま
った。タムのある山の中の小さな町。



● 蔦屋重三郎の店、耕書堂も復元されている。
彫や摺りの道具類の展示も興味深い。

読書ノート

- 茨木のり子の献立帖 茨木のり子著

自筆レヒロ、台所実測圖、日記抄録、写真集

平地熟・コロナ7572

2019年7月、信州のやすえさんから贈られた本、詩人茨木のり子は、夫と二人の家庭生活を日々大切に、料理もよくした。愛する夫は、のり子49歳のとき肝臓癌かんのため死去。日々欠かさず綴られた日記帳、献立のメモ、ノート。夫のようぶ姿、友人、知人を招いての食事会、わかやもあきさんが多かった、フィラードをほじめ外国人も、50歳1さんや平山、娘たちの友人、その友たち、息子、娘、ほじめで会う人も多かった。共働きのなかで二人でもてなし、手作り料理をたのしんだ。

そして友の家に私たち家族も泊めてもらった。
昔の献立ノートを見ると、なつかしい。♡

のり子さんはほんとうにお料理上手、再現された料理の写真からおいしい匂いが流れてくる。「茨木のり子 詩集」を読む、本棚に何冊かある。

- OLIVIA オリビア サーカスをつくう あずなろ書房

イワン・パルユータ作・谷川俊太郎訳

オリビアはよいしやまな豚の女のこ。豚のサーカス
をどうやって求むう？ 雑誌「ニューヨーク」の表紙
絵を手かける作者が初めて手かけた絵本。
17か国で出版され、日本でもベストセラーに。
絵が新鮮、谷川俊太郎の言葉も。
声に出して読むとさらに楽しい。

庭のケヤキの根元に小菊の

つほみかみし 六葉品のあは花か

大根の とろとろ スープ (市の広報紙より)

(2人) 大根 150g 薄めのイチョウ切り
玉ねぎ 50g 粗めのみじん切り
ハーブペーコン 2枚 (20g) 1センチ幅に切る

- ① 鍋に上の材料と水 150ml
コンソメ顆粒 小さじ1 を入れ、フタをして
中火にかける。沸いたら弱火にし、
時々まぜながらやわらかくなまで煮る。
- ② 火を止め、泡立器やマッシャーなどで粗く
つぶす。 牛乳 100ml、白み 小さじ1 を
溶き入れ、弱火で温める。

1472
21



器に盛りつけ
女子27"フ"ウツ770940-6

♡ ミレイちゃんの バースデーパーティー - 11/2



七才あめとう

なかなよし7人を招いて楽しいパーティーの
写真がメールで。ケーキもお菓子もママのチっ
くり。いっはおいおしゃべりして、つぎは
ハロハロもいっはに おいストでいっはんで、
迎えに来たママもいっはに ティー・ハローティー。
ない森の中の公園のようなところにアハート
がある。小鳥もやってくる。

咲花